

調布市のがん検診実施状況と国の指針にあるがん検診との比較及び調布市のがん検診の課題

令和8年5月作成 資料 3

		対象年齢	個別通知・申込み制・費用 等	間隔	内容	課題
胃	市	バリウム検査：30歳以上 内視鏡検査： 50.52.54.56.58.60.62. 64.66.68歳	①35～59歳5年毎（バリウム検査）個別通知（無料） ②30歳以上の上記年齢外 （バリウム検査）申込み制（無料） （内視鏡検査）50.52.54.56.58歳 申込み制 （自己負担2000円） ③60歳以上毎年個別通知 60.62.64.66.68内視鏡選択可 （自己負担2000円） ※内視鏡受診者は翌年の検診は不可	バリウム検査：1年 内視鏡検査：2年	①バリウム検査（集団） ②バリウム検査（個別） ③バリウムor内視鏡検査 （個別）	・国の示す対象年齢以外（40歳未満）も対象としている ・50歳代は個別通知が5年毎になり、申込みをしないと受診できない ・70歳以上はバリウム検査のみ（内視鏡不可） ・毎年バリウム検査を受けることによる被曝の問題 ・個別通知や申込み制、集団や個別等年齢によって受診方法が違 うためわかりづらく煩雑 ・バリウム検査が可能な医療機関の減少 ・内視鏡可能医療機関の確保
	国	50歳以上		2年 当分の間40 歳以上バリウ ム検査は年1 回実施しても 可	バリウム検査 内視鏡	
大腸	市	30歳以上	（無料） ・35～59歳5年毎個別通知 ・30歳以上で上記年齢外は申込み制 ・60歳以上毎年個別通知	1年	便潜血2日法（個別）	・国の示す対象年齢以外（40歳未満）も対象としている ・がん検診に適さない対象者（寝たきり・経過観察中・高齢者・ 他疾患等）も個別通知されている ・40～59歳は個別通知が5年毎になり申込みをしないと受診 できず受診率が低い ・個別通知や申込み制等受診方法が年齢によって違うため、わか りづらく煩雑 ・精密検査未受診者が多い（特に高齢者）
	国	40歳以上		1年	便潜血2日法	
肺	市	40歳以上	（無料） 申込み制	1年	胸部レントゲン二重読影 （集団）	・受診率が低い ・高齢者の受診者が多い
	国	40歳以上		1年	胸部レントゲン二重読影	
子宮頸	市	20歳以上	（無料） ・35～65歳5年毎個別通知 35.40.45歳受診期間内に個別受診勧奨 ・21歳無料クーポン ・申込み制（上記年齢以外） 21歳以外の20代個別受診勧奨	2年	子宮頸部細胞診（個別）	・30代以上の個別通知が5年毎で申込みをしないと受診できな い ・受診率が低い（特に若い世代） ・個別通知や申込み制等受診方法が年齢によって違うためわかりづ らく煩雑 ・申込みをして受診できるまで時間を要する（個別通知者以外） ・HPV単独法を実施するための体制が整っていない
	国	20歳以上		2年	子宮頸部細胞診	
				5年	30歳以上 HPV検査単独法	
乳	市	40歳以上	・申込み制（通年）（自己負担1500円） ・41歳無料クーポン	2年	マンモグラフィー検査（個別）	・受診率が低い
	国	40歳以上		2年	マンモグラフィー検査	
前立腺	市	50～70歳	申込み制 （自己負担1000円）	毎年受診 可能	PSA検査（血液検査）	・死亡率に關与する検診ではなく、発見されても治療不要の可能 性もある。
	国	国の指針外の検診				
胃 リス ク 検 査	市	過去に受けたことがない40 ～49歳	（無料） 申込み制	1人1回	血液検査（ピロリ抗体・ペ プシノゲン）	・胃がんの発症抑制や死亡率に關与されるか、検証ができない
	国	国の指針外の検診				

国の指針

※ 「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」（厚生労働省）による積極的な受診・再受診勧奨推奨年齢は胃がん検診50～69歳、肺・乳がん検診40～69歳、子宮頸がん検診20～69歳

※ 乳がん検診以外の申込みによる検診は申込みや受診期間を別に設定